

3 原子力災害から「身を守るため」の行動

原子力災害で何より重要なことは、放射線物質や放射線から身を守ることです。
 そのために覚えておいていただきたい行動のポイントは、「(1)正確な情報の入手」「(2)避難」「(3)安定ヨウ素剤の服用」の3つです。
 状況に応じて適切に行動できるよう、確認しておきましょう。

(1) 正確な情報の入手

- ・まずは落ち着いて防災行政無線やテレビ、ラジオ、携帯電話などから、正確な情報を入手する。
- ・市（または国、県）からの情報を入手して行動するよう、心がけてください。
- ・うわさやデマなど不確実な情報に惑わされないようにしてください。

市からお知らせする情報

- ◆ 事故の進展状況
- ◆ 避難の必要性の有無
- ◆ 住民の皆さまにとっていただく行動 など

(2) 「避難」する際の流れ

お住まいの区域に対し、市から避難指示があった場合、市が指定する避難所を目指してください。

その際の避難手段は、自家用車での乗り合いを基本とし、自家用車での避難が困難な場合は市などが用意するバス等で避難してください。

【自家用車等での避難が可能な場合の流れ】



【自家用車等での避難が困難な場合の流れ】

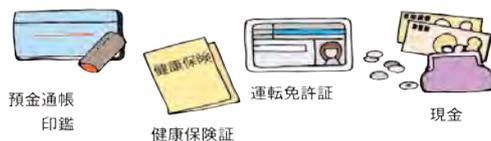


(3) 安定ヨウ素剤の服用

- ・避難の際に、速やかに服用できるよう事前に受け取っておいてください。
- ・服用のタイミングが重要になります。市の指示に従い服用してください。

《非常時持ち出し品の例》

●貴重品など



●情報を得たり伝えるもの



●身の安全や健康を守るもの



●肌を露出しないようにするもの



4 避難チェックリスト

避難するときに確認してください。

- 避難指示が出てから避難する。
- 電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めるなど火の始末を忘れずに行う。
- 貴重品や最小限の着替え、持病の薬など非常時持出品等を携行する。
- 近所で声をかけあう。
- 肌を露出しないよう長そで・長ズボン・帽子・マスク・手袋などを身につける。
- 戸締りを忘れずに行う。
- 安否確認を効率的かつ迅速に行えるとともに避難済みであることが確認できるよう、自宅の玄関付近に目印（白いタオルなど）を表示する。
- 原則、自家用車で避難する。
- できる限り、乗り合いを心がけて渋滞緩和に協力する。
- 自家用車避難ができない場合は、一時集合所（旧本米崎小学校）に集合し、市などが用意したバスや福祉車両で避難する。

5 訓練当日及び当マニュアルに関するお問い合わせ

那珂市市民生活部 防災課原子力グループ

電話：029-298-1111 内線 445 FAX：029-298-1357



※この機会にあらためて「原子力災害に備えた避難ガイドマップ」をご家族で目を通し、すぐに取り出せる場所へ置いておきましょう。